

- 開催日時：平成31年1月26日（土）11時～19時（若草山焼き同日開催）
1月27日（日）11時～18時

- 開催場所：平城宮跡朱雀門ひろば

- 愛称：大立山まつり2019「奈良ちとせ祝ぐ寿ぐまつり」
（まつりのコンセプトを具体化し、親しみやすくするために愛称を命名）



大伴家持が天平時代に宴席で詠んだ歌（万葉集 卷十八の四一三六）より
「あしひきの 山の木末（こぬれ）の ほよ取りて かざしつらくは 千年（ちとせ）寿（ほ）くとそ」
（訳：山の木の梢に生えているほよ（やどりぎ）を取って、髪飾りにしたのは、千年も続く長寿を祈ってのこと）

→「このお祭りが奈良の冬を代表するお祭りとして長く続くとともに、1300年以上続いてきた『奈良』のにぎわいが今後も長くつづきますように」、また「年の始めに長寿を願う」との意味を込める。
ほぐほぐと2回繰り返すのは「祝」と「寿」の両方の漢字を重ね、「祝寿（しゅくじゅ）」で長寿を祝う意味のほか、このお祭りを継承していてもらいたい子どもたちが覚えやすい名前という意味も込めている。

- コンセプト：古代と今が会う奈良のいいところ冬まつり
→古代と今の両方の魅力をもつ奈良のいいところを集め、「奈良は楽しい」と思っていただけのようなお祭りにする

今年度のポイント

- ・ 民間の企画運営部会員を中心に企画を検討し、従前のまつりのメインコンテンツであった伝統行催事の披露、あったかもんなどの地域の特産品の販売は引き続き実施しながら、それに加えて、民間の方々の企画力・発想力・ネットワークを活かした様々なコンテンツを実施。
- ・ 朱雀門ひろばの利点を活かして、施設の管理者と連携しながら、いざない館やみはらし館等の既存施設を最大限活用。
（利用予定場所：いざない館多目的室・企画展示室、みはらし館VRシアター、うまし館多目的スペース 等）
- ・ 開催時間を2時間前倒しし、昼間の比較的温かい時間にまつりを楽しんでいただくとともに、地域の特産品をランチタイムにも楽しんでいただく。



会場レイアウト（予定）

※赤字は新企画

①

■ 県内各地の伝統行事等の披露
→ 20団体（新規出演3団体）が出演予定
朱雀門基壇とブースに近い平場ステージで実施



■ 礼服再現・古代の年始行事をモチーフとしたオリジナルステージ
→ 当時の天皇の礼服等を再現するとともに、古代に平城宮跡で行われていた年の始めに「護国豊穰」を祈念する行事「御齋会」をモチーフとしたオリジナルステージで最終日の夕方に、祭りのクロージングを演出

■ 大立山の点灯演出
→ 朱雀門周辺に、日の入り時に太鼓の演出等とともに、大立山を点灯し、夜の会場を演出



②

■ 県内市町村のあったかもんグルメ、地域ならではの特産品市
→ 県内各地域の魅力あるあったかいメニュー及び特産品を販売
イベント期間以外でもあったかもんメニューを食べていただき、地域を周遊してもらうために、店舗情報等も積極的に広報



■ 奈良のお酒の販売
→ 奈良県の日本酒、クラフトビール等を販売

④

■ 大立山の展示
→ 朱雀門を背景に大立山を設置



③

■ 立山の展示
→ 県内3箇所の立山の展示



⑥

■ 若草山焼きの鑑賞（26日）
→ 平城宮跡から見る、奈良の冬の風物詩を楽しんでいただく。



⑦

■ 県内古寺等を巡るバスツアー
→ 奈良市内や中南和地域などの県内の古寺等を巡るツアーを企画。

⑤

■ 県内の魅力をPRする様々なブースの設置
→ 県事業関連（奈良の木・漢方）のPRブース
県内日本遺産のPRブース
地場産業の販売（宇陀毛皮、御所 sandals）



⑧

■ 奈良時代にまつわる体験企画（ワークショップ、講話等）
→ 既存施設を活用しながら、屋内で10企画以上を実施予定

■ 奈良時代をモチーフとした雑貨や書籍の販売

■ 県内伝統行事の映像を既存施設内のモニターで放映

■ 県関連事業（記紀・万葉）のPRコーナーの設置

※いざない館企画展示室での事前展示（1月初旬～まつり当日）

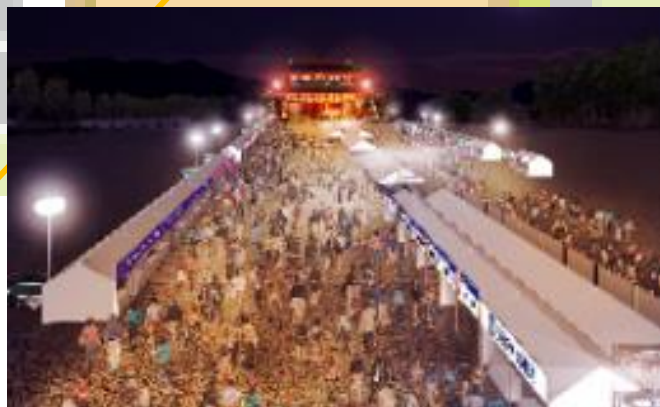
⑨

■ こども向け、家族づれ向けコンテンツの実施



⑩

■ 市町村とメディア・旅行者・インフルエンサー等とのご縁つなぎ
→ 奈良の良さを発信したい方々同士の出会いの場を創出



（会場イメージ）

伝統行事などのステージイベント

■平場のステージを使用して、飲食等ブースの近くでより賑やかな環境を創出し、**県内20団体の伝統行事等を披露。**
 ■**古代の正月の行事「御齋会」をモチーフとしたオリジナルステージ**を実施し、祭りのフィナーレとする。
 ■朱雀門を背景に、和太鼓等の演奏に合わせて、**大立山を点灯し、夜の会場を演出。**

1月26日（土）		
12:30	オープニング (奈良時代天皇の礼服・礼冠の披露)	古代と今が会う奈良という本イベントのコンセプトのもと、奈良時代の天皇の礼服等を再現。その衣装を披露し、ステージのオープニングを演出します。
	能楽観世流仕舞 (川西町)	仕舞は、謡だけを伴奏に、面・装束を着けず能の一部分を舞うものです。能の心髄をご堪能ください。
	けはや相撲甚句 (葛城市)	けはや相撲甚句会は2005年2月奈良県発の相撲甚句会として結成。以来毎月、葛城市相撲館「けはや座」において、「相撲甚句の日」として公開稽古を行っています。
	鬼火の祭典 (吉野町)	午前10時より修験者が1年分の般若心経を唱える「日数心経」を行い、1年間の除災招福を祈ります。引き続いて星を供養する「星供秘法」が行われ、鬼の調伏式、蔵王堂境内にて採灯大護摩供厳修、ひき続き「福豆まき」が行われます。
14:00	菅野の獅子舞 (御杖村)	御杖村雪野にある四社神社（ししゃじんじゃ）に奉納される獅子舞。子どもを肩の上のせて舞う「お伊勢参り」や鼻の長いお面をつけた「ハナナガ」がひょうきんな動きで会場をわかせます。
	へぐり時代祭り (平群町)	平群ゆかりの人物に扮して参加者250名以上で約1.3Kmを歩く『時代行列』は、古代から戦国までの絢爛たる時代絵巻の様でまさに必見！
	なもで踊り (安堵町)	なもで踊りは、雨乞い祈願を目的に踊られた太鼓踊り（風流踊り）で、現代の踊りは、一度途絶えたものにアレンジを加えて復活させたもので、毎年10月の第四土曜には飽波神社の秋まつりにおいて奉納します。
	小川祭り (東吉野村)	通称“小川祭り”“喧嘩祭り”とも云い、毎年10月に斎行されます。村内の8ヶ大字より8連（から）の太鼓台が境内所狭しとばかりに競いあう姿は、勇壮そのものです。
16:00	砂かけ祭 (河合町)	1300年前に天武天皇が五穀豊穡を祈願して始めた「大忌祭」が起源と言われ、大和の奇祭として有名な砂かけまつりは必見です。
	平城山相撲甚句 (奈良市)	平城山相撲甚句会は、2014年に設立された、奈良市で初めての相撲甚句会です。相撲甚句の伝承・普及に努め、「明るく、楽しく、元気よく」をモットーに会員相互の親睦を図り、奈良市を中心に活動しています。
	白拍子の舞 (大和高田市)	大和高田市のまちづくり団体「夢咲（ゆめさき）塾」によって伝承されている静御前ゆかりの大和高田・白拍子の舞を披露。雅で清楚でキリリとした白拍子の舞を春日の神様に捧げます。
	新 和太鼓「鼓城」 (高取町) ＜大立山の点灯＞	1997年に高取町の和太鼓教室のメンバーを中心に結成。現在は和太鼓の魅力に魅せられた男女13名により構成。楽しい太鼓を合言葉に高取町近隣の祭など様々なイベントに参加し、より多くの方に太鼓の迫力と楽しさを感じ取ってもらえるよう活動を展開しています。
18:00	花火&若草山山焼き	朱雀門周辺から見る、奈良の冬の風物詩「若草山の山焼き」は絶景です。若草山で行われる冬花火及び山焼きを、祭りの雰囲気の中で、平城宮跡からの素晴らしい眺めを楽しんでいただけます。
	新 大和よさこい (香芝市)	大和(奈良)の地をよさこいで元気に！香芝市を拠点に老若男女誰もが気軽に参加し楽しむことができる“よさこい鳴子踊り”の普及活動をしています。「大和よさこい祭り」開催に向け、県内各地でよさこい鳴子踊りを披露しています。

1月27日（日）		
	オープニング (奈良時代天皇の礼服・礼冠の披露)	古代と今が会う奈良という本イベントのコンセプトのもと、奈良時代の天皇の礼服等を再現。その衣装を披露し、ステージのオープニングを演出します。
	大和すくね相撲甚句 (桜井市)	相撲甚句は江戸時代以降に流行歌として定着した七五調の囃子歌で、独特な節回しと歌詞が親しまれています。日本書紀では桜井市穴師のカタヤケシで初めて相撲が行われたとされ、その勝者である野見宿禰に因み、大和すくね甚句会として桜井市を拠点に活動しています。
	紅しで踊り (天理市)	江戸時代に干ばつで苦しんだ農民が大和神社に雨乞いし、願いが成就した感謝の気持ちを踊りにし奉納したもの。一時途絶えた踊りを地元女性の方々が復活されました（市無形民俗文化財）。現在では五穀豊穡の踊りとして奉納されています。
	広陵金明太鼓 (広陵町)	平成6年結成の和太鼓演奏グループによる迫力ある太鼓演奏。その名は「かぐや姫」が生まれたと伝えられる金明孟宗竹に由来します。
	ちびっこ桧垣本座 (大淀町)	室町時代、吉野猿楽の一つであった「桧垣本猿楽座」が存在し、大淀町を中心に広く活躍していました。子ども達が稽古を重ねた成果を披露します。
	桃俣の獅子舞 (御杖村)	御杖村桃俣にある春日神社に奉納される獅子舞。神殿における当屋神事に続いて、桃俣獅子舞保存会と協力団体による伝統の獅子舞の奉舞のほか、和太鼓や太神楽曲芸などを神前に奉納します。
	風流舞 (田原本町)	田原本町は能楽の発祥地で、舞や音楽が盛んでした。そんな土壌があって大和猿楽が起り、南北朝期には観世や金春がこの地で活躍しました。舞や音楽の文化を引き継ぐため、篠笛（しのぶえ）や太鼓で奏でるお囃子を優雅な舞で彩ります。
	バサラ祭り (奈良市)	鎌倉、室町時代に流行し、音楽や舞楽などで、わざと拍子を外して目立つ風潮、美意識を表した「バサラ」。奈良の歴史と神仏に感謝しながら、自由奔放、酔狂すこぶる、好き好きに踊るダンシングパフォーマンスを披露します。
	新 和太鼓「宝亀殿」 (奈良市) ＜大立山の点灯＞	平成19年に奈良市奈良阪町の有志により結成。私たちの氏神 奈良豆比古神社での奉納演奏の他、東大寺転害門で行われている東大寺二月堂竹送りお迎え式、地域や福祉施設などの行事での演奏や、子ども園や小学校の子ども達との交流など、和太鼓の魅力や楽しさをお伝えできればと活動を行っております。
	雅楽演奏・古代正月行事オリジナルステージ ＜クロージング＞	2日間のまつりのフィナーレとして、雅楽演奏の中、古代に大極殿にて行われていた護国豊穡を祈念する行事「御齋会」をモチーフとしたオリジナルステージを実施します。

(留意事項)

- ・このスケジュールは大まかな時間割を示したものであり、時間は目安です。
- ・内容について今後変更する可能性があります。

あったかもんグルメと地域ならではの特産品市の出店状況




- **県内の市町村が推薦する、あったかもんグルメ又は地域ならではの特産品が出店**（出店予定内容は以下のとおり）
- **このイベントを通じて、あったかもんや地域の特産品を知っていただき、これらの特産品を目的に、イベント開催期間以外でも地域を周遊していただけるように、出店店舗を冊子やホームページ等で積極的に広報**
- **メニューの種類や価格や量などを自由にして、市町村が真にPRしたいものを出店していただき、地域の特産品として、長く地域に根付くものを販売してもらうことを目的とする。**（ルール統一が必要なグランプリ形式は今年度は実施しない。）

	あったかもん		地域特産品		伝統行事等・立山展示
	メニュー	出展団体	メニュー	出店団体	
奈良市	地元野菜のイタリアンポトフ	CAFÉ ETRANGER NARAD（カフェ エトランジェ・ナラッド）			バサラ祭り、平城山相撲甚句、和太鼓（宝亀殿）
大和高田市	みくちゃん鍋	-	大和高田市特産野菜5品目（きくな・こまつな・しろな・ねぎ・ほうれんそう）	大和高田市	白拍子の舞
大和郡山市	奈良鹿ないカレーシリーズ 限定 大和郡山カレー	「奈良鹿ないカレー」 Bar Sallyならしか事業所	奈良にちなんだカクテル（予定）	Bar Sally/ならしか	
天理市	調整中	天理市商工会			紅して踊り
橿原市	献上 飛鳥鍋	橿原観光ホテル			八木町立山
桜井市			調整中	共栄印刷	大和すくね相撲甚句
五條市	ばあく豚のミネストローネ 食乱小麦パン添え	手作りハム ばあく	串カツ	左同	
御所市	かも鍋	葛城高原ロッジ			東名柄立山
生駒市	創業400年の酒造が生駒山の名水と良質の米で作った酒粕ベースのあったかドリンク『ホットたけひめ』&五穀豊穡黒豆ぜんざい	株式会社たけひめ			
香芝市	GoodDog(ホットドッグ)	GoodJob!センター香芝	大和マイタケ、リーフマウンテンエッグ、米粉ドーナツ、バームクーヘン、かしば香るみそ	香芝市商工会	大和よさこい
葛城市	新感覚！飲むホットティラミス	葛城アグリ倶楽部 まる兄きっちゃん。			けはや相撲甚句
宇陀市	うだ北斗の黒龍麺	NPO法人 うだ夢創の里	よもぎあんまき/宇陀市名産品(梅干し・紅生姜・山菜菓子・みそ類・佃煮類等)	粉川家	
山添村	神野山名物シシ・肉まん	神野山観光協会	冷凍シシ・肉まん3個入り	神野山観光協会	
平群町	平群産もち米のあったかぜんざい	道の駅大和路へぐりまがしステーション(公益財団法人平群町地域振興センター)	平群産おかず味噌、古都華ジャム、平群の酒類	左同	へぐり時代祭り
三郷町	黒豆山かけtororoうどん	三郷町	黒豆コロッケ・さといもコロッケ	三郷町	
斑鳩町	斑鳩名物竜田揚げ	日本竜田揚げ協会	斑鳩ブランド2019認定品	斑鳩ブランド創造協議会	
安堵町	ほっとあんど芋煮鍋	安堵町役場	芋煮出汁特製カレーうどん 三代目 石田製麺所 うどん(2ヶ入り)/八割蕎麦(2ヶ入り)/金のつゆ(2ヶ入り)/大和茶種(3食入り)	イシメン株式会社	なもて踊り
川西町	結崎ネブカでネギらう美味汁	NPO法人川西スポーツクラブ			能楽観世流仕舞
三宅町	里芋の唐揚げ	三宅町	サトイモ焼酎 屯倉	三宅町	
田原本町	田原本産とろ〜り味間いも&完熟トマトのミネストローネ	はなみずき			風流舞
曾爾村	寒熟野菜がたっぷり入ったカうどん	民宿「豊栄」			
御杖村	調整中	御杖村			菅野の獅子舞、桃俣の獅子舞
高取町	翁(汁)鍋	高取町ふれあい加工部	「コッペパンサンド」トウキ葉タルタル、玉ねぎのスープ(予定)	ポニーの里ファーム	和太鼓(鼓城)
明日香村			イチゴ(あすカルビー)	農事組合法人ふるさと明日香	
上牧町	調整中		調整中		
王寺町	雪丸バーガー(予定)	王寺町食品衛生協会	雪丸グッズ	王寺町食品衛生協会	
広陵町	広陵町産ちぢみ小松菜まん	海鮮中華料理 呑			広陵金明太鼓、大垣内立山
河合町	ショコラティエが作る古都華と焼き菓子のチョコレートフォンデュ	Patisserie TRICO	洋菓子・ホットチョコレート	左同	砂かけ祭り
吉野町			葛湯&吉野地酒飲み比べ&その他各種吉野町の特産品	吉野ビクターズビューロー	鬼火の祭典
大淀町	ヤマトボークの極み細麵 ～おおよど“幸”番茶にゆうめん 2019大立山まつりVer.～	大淀町商工会番茶プロジェクト	ヤマトボークの極みコロッケ	大淀町商工会	ちびっこ絵本座
下市町	下市産エビ入りカレースープうどん	栃原道しるべ	葛湯、レモンガラス、行者の湯(入浴剤)、割り箸	下市町	
黒滝村			黒滝串こんにやく、へそ餅・かきもち・黒滝ベジタブルクッキー・黒滝びくるす・白きゅうり漬け物)	黒滝こんにやく よもぎの里	
天川村			調整中		
野迫川村	猪と鹿肉の田舎煮込み	かわらび荘			
十津川村	温泉豆乳うどん鍋	十津川食品	高菜入りうどん、串こんにやく、めはり寿司	十津川食品	
下北山村	きなり鍋	下北山スポーツ公園((一財)下北山むらづくりセンター)	特産品(下北春まな、ジャバラなどを原材料にした加工品、手作り箸、割り箸など)	下北山村	
上北山村	かみきた炙りあまご入り 栃餅雑煮	Café かわべのいえ	心もホット！ピリ辛こんにやく	上北山村特産品加工センター	
川上村	源流ぜんざい	匠の聚	かきもち、きりこ	川上村	
東吉野村	ぼたん鍋	有限会社小さな道の駅 ひよしのさと			小川祭り

立山の展示




(出店・企画内容は現時点のものであり、今後変更する可能性があります。)

■立山の展示：飲食ブースの近くに設置し、飲食を楽しみながら立山を鑑賞いただける雰囲気を出

<p>大垣内立山祭り（広陵町）</p> 	<p>東長柄立山祭り（御所市）</p> 	<p>橿原市八木町立山（橿原市）</p> 
<p>毎年8月24日の地蔵盆に伝統の立山が飾られます。その年の話題のテーマで立山を飾り付け、人々に話題を提供する夏の終わりの行事です（町指定無形民俗文化財）。</p>	<p>明治初期から続く伝統の祭り。その年に話題になったものを立山にして毎年7月に、地元の天満宮に奉納します。</p>	<p>毎年8月23日から25日の間、橿原市八木町で行われる四百年を超える歴史ある祭り「愛宕祭」では、火難除けの神として名高い愛宕神への供物として、その時に話題になったものを「立山」にして、町内に飾ります。</p>

県内各地域のPR

■日本遺産PR：県内に3箇所ある各地域のPRブースを設置

<p>明日香村、橿原市、高取町</p>	<p>「日本国創成のときー飛鳥を翔（かけ）た女性達ー」 【平成27年度認定】</p>	
<p>吉野町、下市町、黒滝村、天川村、下北山村、上北山村、川上村、東吉野村</p>	<p>森に生まれ、森を育んだ人々の暮らしとところ～美林連なる造林発祥の地“吉野”～【平成28年度認定】</p>	
<p>葛城市、大和高田市、橿原市、桜井市、明日香村、ほか大阪府内5市町</p>	<p>1400年に渡る悠久の歴史を伝える「最古の国道」～竹内街道・横大路（大道）～【平成29年度認定】</p>	

■奈良の魅力がPRできる様々なブース等を設置：

- ・ 県事業関連商品の展示・販売等（奈良の木、薬草、記紀・万葉 等）
- ・ 県内スポーツクラブ(奈良クラブ)のPR



■県内ゆるキャラ大集合：県内市町村のゆるキャラが参加し、会場内を盛り上げ



有料企画等

■ワークショップ、講話等：奈良時代について、学び、体験できる企画を実施（以下の内容は一部であり、タイトル名は仮です）

<ワークショップ>（@うまし館内、いざない館内等）

- ・ 古代の鏡 海獣葡萄鏡等の型から作る「レプリカチョコ作り」
- ・ 天然顔料を使用した「うんげん彩色のかんざし作り」
- ・ 鑑真和上ゆかりの香木を使う「天然木でのお香作り」
- ・ 古代の甘味料・甘葛煎を作る「甘葛ブンブン」
- ・ 「遣唐使船絵付け体験」、「木簡ストラップ作り」（平城宮跡管理センター）
- ・ 初凧作りワークショップ&会場での凧揚げ体験（ " " ）



<講話>（@みはらし館内VRシアター）

- ・ 「奈良時代を舞台とした歴史小説を書くということ」【作家 澤田瞳子 他】
- ・ 「神様に捧げられる神饌、地域の祭りを撮る」【写真家 野本暉房、倉橋みどり】
- ・ 「中将姫と奈良の薬草」【當麻寺中之坊 松村實昭師 他】
- ・ 「奈良の美しい風景を撮り続けるカメラマン新作上映」【映像作家 保山耕一 他】
- ・ 「平城宮跡を守り、活かし、つないでいく（奈良ひとまち大学特別授業）
- 【海龍王寺住職 石川重元、奈文研 小田裕樹、元ミス奈良 中島志佳 他】

■本格的奈良時代体験：

いざない館内に、着付け・髪結い、古代の食事と往時の雰囲気を楽しめる空間を創出

■県内の古寺等を巡るバスツアーの実施：

- ・ 会場を起点（または終点）としたバスツアーを実施し、まつりを楽しむとともに四天王や万葉集をテーマに県内を周遊していただくツアーを開催。

■奈良の地酒・新 雑貨等の販売：

- ・ 奈良の地酒（日本酒、ビール等）
- ・ 奈良時代をテーマとした雑貨・書籍

■県内地場産業の販売：

- ・ 宇陀市の毛皮革製品
- ・ 御所市のヘップサンダル



■こども・家族連れ向けコンテンツ

こどもや家族連れが楽しめる縁日を実施



広報計画等について

WEB、紙媒体等での広報

媒体	発行(実施)時期	内容
チラシ①	10月下旬	開催日時、場所、実施概要(案)がわかるチラシ、パンフレットを作成・配布 (正倉院展にあわせて来県された、奈良好きの方に周知する)
パンフレット①		
ホームページ		
SNS (facebook、 新 twitter、 新 インスタグラム)		
ポスター	12月中旬	施設や店舗等に冬のイベントのPRとして掲示していただくポスターを作成・配布
新 首都圏でのイベント	12月14/15日、 1月5/6日 12月25日～1月8日	東京まほろば館において、2日間のイベントの告知を2回行い、首都圏在住の奈良好きに来県いただけるようPRを実施。 また、年末年始にまほろば館内においてPR展示も併せて実施。
チラシ②	1月初旬	あったかもんのメニューやステージスケジュール、その他の祭りの内容がわかるチラシ及びパンフレットを作成し、イベント1ヶ月前に配布。
パンフレット②	1月初旬	
その他広報媒体	随時	県民だよりや大宮通りジャーナル、月刊ならら等、様々な広報媒体に本イベントの記事を掲載。

新 市町村と旅行者、出版者、インフルエンサー等とのご縁つなぎ

- 本イベントが、奈良を盛り上げたい、奈良の良さを発信したいという方たちの出会いの場となるような取組を実施。
- 旅行会社や出版者等の方を本イベントに招待し、市町村観光担当者をつなぐ。
- インフルエンサーと呼ばれる、WEB上で発信力のある方を招待し、市町村担当者をつなぐとともに、本イベントのみならず、奈良の魅力の発信につなげる。